

今月の資料ちゃんからのお知らせ



地震にはどんな備えが必要なのかなあ。日本には多くの地震が発生するから自分の、家族の、そしてみんなの身の守り方や助け方を覚えておこう！

～ 阪神・淡路大震災の経験をいかす ～

今年の1月17日で阪神・淡路大震災から9周年を迎えました。大震災の傷がなお残る今日ですが、すでに次なる地震―東海、東南海、南海地震など―への備えが提唱されています。近年では各都道府県住民の間に災害に対する防災意識が高まり、水や備蓄食糧を置いている家庭を多く見かけますが、地震直後に倒壊家屋などの下に閉じ込められた人々を救出するのに役立つ道具にまで気を配ることは案外少ないようです。

1 近隣住民による救出活動

大地震の被害が大きく広範囲にわたると、消防署や市・区役所などの地元の行政機関だけでは対応が困難になります。また、国の自衛隊、さらに国外からの救助を待てば救出するまでに時間がかかります。早く助け出すことができれば生存率も高くなります。阪神・淡路大震災当時、倒壊家屋の下敷きになった人の多くが近隣の住民の手によって救出されました。



兵庫県広報課震災記録写真
人と防災未来センター所蔵 より

2 救出に役立ったもの

震災直後の混乱の中で、とっさの機転や要領によって様々なものが救出作業に役立ちました。備蓄食料に加え、以下のものもそろえておくとよいでしょう。

● 軍手、手袋

ガレキや陶器・ガラスの破片で手を傷つけないためにかかせません。寒い季節には防寒用品としても重宝します。



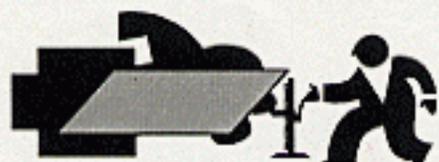
● 脚立またはハシゴ

脚立やハシゴは登るためだけではなく、足場が悪い所に渡してその上を歩くことができます。



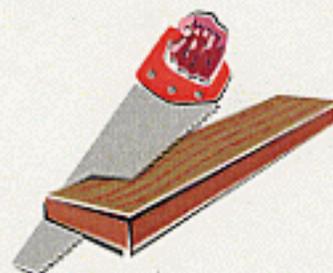
● ジャッキ

普段は車のタイヤ交換などで使用するジャッキですが、崩れた壁や屋根を押し上げ、空間をつくるのに役立ちます。また、ジャッキがない場合はポールなど鉄の棒を使って、テコの要領で重いものを持ち上げることもできます。



● ノコギリ、オノ

壁や板の下敷きになっている人を、穴を開けて救出するのに使いますが、人がいる位置を十分に確認してからにしましょう。焦るあまりいきなりノコギリやオノを振り落とすと危険です。



大震災から9周年、センターでは…

1月17日は早朝から、兵庫県の主催で「1.17ひょうごメモリアルウォーク2004」が実施され、ウォークの終点となる人と防災未来センター前にて「追悼のつどい」が行われました。当日は雪がちらつく寒さの中、多くの方が参列し、慰霊のモニュメントに献花を行いました。

翌1月18日には防災とボランティアに関する普及・啓発を目的とした「防災とボランティアのつどい」、そして「炊き出し大会」も開催されました。



2004年1月17日の「追悼のつどい」

～ 図書紹介 ～

●「阪神・淡路大震災 被災と住宅・生活復興」

安藤元夫 著、(株)学芸出版、2003年（資料室図書番号:3-C ジュ 25657）

阪神・淡路大震災の被害を受けた土地のうち4地区を対象に、被災から復旧・復興の全過程において生じた問題に関し定点観測を行い徹底検証。

●「防災いろはカルタ」

NHK名古屋放送局 編、平成15年
（資料室図書番号:5-B ポウ 25654）



「防災」をテーマにした標語のカルタ。

かわいいイラストと分かりやすい標語で、子供から大人まで防災について楽しく学べます。

新着図書

題名	著者・記事作成者	発行者・発行者
奥尻からの警鐘	金子正光 山本保博 [監修]	(株)荘道社
「こうべ」この1年	神戸市広報課	神戸市広報課
まちづくりのグランドデザイン21	兵庫県県土整備部企画調整局 課長(都市政策担当)	兵庫県
教育の創造的復興をめざして		兵庫県教職員組合 兵庫教育文化研究所
静岡県は大丈夫か？	水野誠一	野草社
復興市街地整備事業とその推進方策に関する調査 報告書		兵庫県
寿命を縮める家	直井英雄 坊垣和明	(株)講談社
Q&A火山噴火		(株)講談社
火山はすごい	鎌田浩毅	PHP研究所
南極・火山・地震	神沼克伊	玉川大学出版部
富士山宝永大爆発	永原慶二	(株)集英社
房総沖巨大津波	伊藤一男	崙書房
地震雲を追いかけて	上出孝之	北國新聞出版局
写真で見る関東大震災		ちくま文庫
関東大震災と戒厳令	松尾章一	(株)吉川弘文館
夢二と花菱・耕花の関東大震災ルポ	竹久夢二 川村花菱 川村耕 花	(株)クレス出版